学校番号	3005

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅢ	3	第３学年 理数工学科	Vivid English Communication Ⅲ （第一学習社） Vivid English Communication Ⅲ ワークブック（第一学習社）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 英語コミュニケーションⅢでは、１，２年で培った「読むこと」、「話すこと［やり取り］」、「話すこと［発表］」、「書くこと」といった言語活動をさらに発展させる授業です。
② 英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるかということを意識して学習し、音読の練習を繰り返し、語句や表現を身につけ、リーディングスキルを養っていきます。
③ 長めの英文を読んで読解力、論理的思考力、自分の考えを発信する能力を養います。積極的に英語を使って自分の考えや意見を発表しようという意欲が必要です。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと聞き取ることにより、外国の文化・風習などなじみのないことについても、その概要を理解することができる。 ・教科書の英文を聞き、その概要を理解できる。 ・英語による他者の発表の概要を理解できる。	・300 語程度の英文を、複雑な箇所も時間をかけて読むことにより全体の要旨を理解することができる。 ・英検準2級から2級レベルまでの英文を読み、概要を理解できる。 ・辞書を適宜使いながらも、自分で文章の概要を理解する。	・まとまった内容で話すことができる。 ・ある程度のまとまった英文で、外国の文化・風習など、なじみのない事柄について意見交換ができる。 ・英語らしい発音でまとまった内容を話すことができる。	・自分が選んだテーマについてまとまった内容で意見を述べ、自分の考えを他者に伝えることができる。 ・教科書の英文を用いて自分の気持ちを表現することができる。 ・英語らしいリズムでまとまった内容を話すことができる。	・旅行などの自分の行動について、物事の順を追って筋道を立て、文章をいくつかの段落で書くことができる。 ・70 語程度の英文を書くことができる。 ・基礎的な文法と構文を使うことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4 Lesson5 (Each lesson has Get Ready/ Practice)	聞くこと	a: 人物・動物・環境問題など SDGs の題材(1,4,8,12,15,16)に関する英文を聞き、場面や状況に応じた音声の聞き取りの方法を理解している。 b: SDGs の題材について話された内容の情報や概要を聞き取ることができる。 c: SDGs の題材について話された内容の情報や概要を主体的・自律的に聞こうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 人物・動物・環境問題など SDGs の題材に関する英文を読んで、文と文のつながりについて理解している。 b: SDGs の題材から情報や概要を読み取ることができる。 c: SDGs の題材から書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読もうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 句読点、意味のまとまり、時間的順序、つなぎの語句の働きについて理解し効果的な発表方法などを理解している。 b: SDGs の題材から、目的・場面・状況などに応じて多様な語句や文を用いて詳しく話して伝え合うことができる。 c: SDGs の題材から、目的・場面・状況などに応じて多様な語句や文を用いて主体的・自律的に英語でやり取りしようとしている。	スピーキング テスト
		話すこと （発表）	a: 句読点、意味のまとまり、時間的順序、つなぎの語句の働きについて理解し効果的な発表方法などを理解している。 b: SDGs の題材から、目的・場面・状況などに応じて多様な語句や文を用いて詳しく話して伝えることができる。 c: SDGs の題材から、目的・場面・状況などに応じて多様な語句や文を用いて主体的・自律的に英語で発表しようとしている。	スピーチ
		書くこと	a: 句読点、意味のまとまり、時間的順序、つなぎの語句の働きなどの用法について理解している。 b: SDGs の題材について多様な語句や文を用いて書いている。 c: SDGs の題材について多様な語句や文を用いて読み手に配慮しながら主体的・自律的に書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson6 Lesson7 Lesson8 Lesson9 Lesson10 (Each lesson has Get Ready/ Practice)	聞くこと	a: SDGs の題材(1,3,6,9,12,13,17)に関するさまざまな英文を聞き取り，場面や状況に応じた音声の聞き取りの方法を理解している。 b: SDGs の題材の英文から情報･概要･要点を聞き取ることができる。 c: SDGs の題材から話された内容の情報・概要・要点を主体的・自律的に聞こうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: SDGs の題材に関する英文を読んで情報や概要、文章全体の展開などを理解している。 b: SDGs の題材に関する英文を読んで情報や概要、文章全体の展開を読み取ることができる。 c: SDGs の題材に関する英文について情報や概要、文章全体の展開を主体的・自律的に読もうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 主題文と支持文の理解や未知語の意味を推測する方法について理解している。 b: SDGs の題材をもとに目的・場面・状況などに応じながら多様な語句や文を用いて詳しく話して伝え合うことができる。 c: SDGs の題材をもとに目的・場面・状況などに応じながら多様な語句や文を用いて主体的・自律的に英語でやり取りしようとしている。	スピーキング テスト
		話すこと （発表）	a: 主題文と支持文の理解や未知語の意味を推測する方法について理解している。 b: SDGs の題材をもとに目的・場面・状況などに応じながら多様な語句や文を用いて詳しく話して伝えることができる。 c: SDGs の題材をもとに目的・場面・状況などに応じながら多様な語句や文を用いて主体的・自律的に英語で発表しようとしている。	スピーチ
		書くこと	a: 主題文と支持文の理解や未知語の意味を推測する方法について理解している。 b: SDGs の題材について多様な語句や文を用いて書いている。 c: SDGs の題材にについて多様な語句や文を用いて読み手に配慮しながら主体的・自律的に書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	期末考査			

後期	Lesson 11 No Rain, No Rainbow Lesson 12 Natto Saves People in Need Lesson 13 Sazae-san And Machiko Hasegawa Lesson 14 A Lover of the Slum of Ghana Lesson 15 To Achieve Gender Equality Lesson 16 A World with No Fish	聞くこと	a: SDGs の題材(1,3,4,5,6,8,10,11,12,14,17)に関する英文を聞く際に、場面や状況に応じた音声の聞き取りの方法などの知識を活用することができる b: SDGs の題材の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、詳細、話の展開や話し手の意図を聞き取ることができる。 c: SDGs の題材について話された内容を聞く際に、話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に聞こうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: SDGs に関する題材について文章全体の展開を理解している。 b: SDGs に関する題材の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、詳細、話の展開や話し手の意図を読み取ることができる。 c: SDGs に関する題材の英文を読む際に、書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に読もうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 関係代名詞 which、文修飾副詞、名詞構文、分詞構文などの意味や働きについて理解している。 b: SDGs に関する題材について目的・場面・状況などに応じながら、多様な語句や文を用いて詳しく話して伝え合うことができる。 c: SDGs に関する題材について目的・場面・状況などに応じながら、多様な語句や文を用いて主体的・自律的に英語で伝え合おうとしている。	スピーキング テスト
		話すこと （発表）	a: 関係代名詞 which、文修飾副詞、名詞構文、分詞構文などの意味や働きについて理解している。 b: SDGs に関する題材について目的・場面・状況などに応じながら、多様な語句や文を用いて詳しく話して伝えることができる。 c: SDGs に関する題材について目的・場面・状況などに応じながら、多様な語句や文を用いて主体的・自律的に英語で発表しようとしている。	スピーチ
		書くこと	a: 関係代名詞 which、文修飾副詞、名詞構文、分詞構文などの用法について理解している。 b: SDGs に関する題材について多様な語句や文を用いて書いている。 c: SDGs に関する題材について多様な語句や文を用いて読み手に配慮しながら主体的・自律的に書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 17 Bats and Gloves Instead of Bombs and Guns Lesson 18 “Brighten the World in Your Corner” Lesson 19 Food Technology Lesson 20 Transforming Our World	聞くこと	a: SDGs の題材(2,3,4,6,7,12,13,15,16,17)に関する英文を聞く際に、場面や状況に応じた音声の聞き取りの方法などの知識を活用することができる b: SDGs の題材の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、詳細、話の展開や話し手の意図を聞き取ることができる。 c: SDGs の題材について話された内容を聞く際に、話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に聞こうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: SDGs に関する題材について文章全体の展開を理解している。 b: SDGs に関する題材の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、詳細、話の展開や話し手の意図を読み取ることができる。 c: SDGs に関する題材の英文を読む際に、書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に読もうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: SDGs に関する英文を聞いたり、読んだりしたことを話して伝える際に効果的な発表方法などの知識を活用することができる。 b: SDGs に関する英文を聞いたり、読んだりしたことを参考に多様な語句や文を用いて詳しく話して伝え合うことができる。 c: SDGs に関する英文を聞いたり、読んだりしたことを参考に多様な語句や文を用いて主体的・自律的に英語で伝えようとしている。	スピーキング テスト
		話すこと （発表）	a: SDGs に関する英文を聞いたり、読んだりしたことを話して伝える際に効果的な発表方法などの知識を活用することができる。 b: SDGs に関する英文を聞いたり、読んだりしたことを参考に多様な語句や文を用いて詳しく話して伝えることができる。 c: SDGs に関する英文を聞いたり、読んだりしたことを参考に多様な語句や文を用いて主体的・自律的に英語で発表しようとしている。	スピーチ
		書くこと	a: SDGs に関する題材について書いて伝える際にパラグラフの構造や文章全体の展開などの知識を活用することができる。 b: SDGs に関する題材について多様な語句や文を用いて書いている。 c: SDGs に関する題材について多様な語句や文を用いて読み手に配慮しながら主体的・自律的に書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度